

令和2年度「食から持続可能な社会の形成を考える学習会」
持続可能な循環型の農業・漁業を同時に行うアクアポニックス施設の見学
終了報告書

令和3年3月19日
新潟県生活協同組合連合会

I. 委託内容

令和2年度2回目の学習会は、SDGs（持続可能な開発目標）やエシカル消費（倫理的消費）の普及を目指し、引き続き環境や持続可能な資源エネルギーをテーマに、水耕栽培と水産養殖を同時に行うアクアポニックスを行う株式会社プラントフォームの施設を見学しました。養殖魚としてチョウザメを育て、その排泄物を利用して有機栽培（無農薬&無化学肥料）の野菜を生産するアクアポニックスの仕組みを紹介し、安全安心で天候に左右されない循環型農業への関心を深めていただきました。以下学習会の結果について報告します。

実施にあたっては初回同様、新型コロナウイルス感染防止の観点から、募集人数を30名とし、3密を防ぐなどの感染防止対策を徹底して実施しました。

II. 企画内容

1. タイトル：令和2年度「食から持続可能な社会の形成を考える学習会」
農業・漁業を同時に行うアクアポニックス施設の見学
2. 日 時：12月5日（土）午前9時15分～12時00分
3. 会 場：（株）プラントフォーム（長岡市上前島1-1863）
4. 主 催：新潟県
5. 企画・運営：新潟県生活協同組合連合会（新潟県受託事業）
6. 参加対象者：募集定員30人：新潟県内在住の方、小学生以上（事前申込必要）
7. 参加者：28名（当日キャンセル2名）
8. 行事共済：有（主催者側で一括加入手続きをします。）
9. 学習テーマ：持続可能な循環型の農業・漁業を同時に行うアクアポニックス施設の見学
10. 次第・スケジュール

* 長岡駅東口受付開始	9:00
① 長尾駅東口出発	9:15
② プラントフォーム着	9:40
③ 施設見学及びエシカル消費についての学習 ～施設の見学及び解説 3班に分かれて（それぞれ約30分） ○解説者：山本 祐二氏（代表取締役CEO）及びスタッフ ○施設で生産した朝採れ無農薬薬物野菜を参加者全員に試食用として提供いただいた。	
④ プラントフォーム 発	11:30
⑤ 長岡駅前東口着	12:00
11. 費用：393,824円（消費税込）

12. 学習会の内容

(株)施設内の見学は人数が限られることから参加者を3班に分けた。山本CEOからは施設内においてチョウザメの養殖現場と排せつ物で育つ野菜を見ながら設備について解説いただいた。スタッフからは施設内プレハブにてアクアポニックスの仕組みについて解説いただき、生協からはエシカル消費についての学習を行った。帰りに施設で生産された朝採れの無農薬薬物野菜を参加者全員に試食用としていただいた。

13. アンケート結果 (別紙アンケート結果参照)

アンケート結果からアクアポニックスの仕組みについての驚きの声が多く、近未来の農業への期待の表明が寄せられた。またエシカル消費について関心を深めていただいたことが伺える。

14. 効果

天候に左右されず、環境にやさしいアクアポニックスは近未来の農業・漁業として定着することが期待されていますが、普及が進み商品の価格が安定するまでには時間を要します。消費者のエシカル消費への関心が高まることが普及につながるものと思われます。参加者には近未来の農業・漁業の施設が雪の多い新潟が敵地で実際に身近に存在することを知っていただき興味をもち期待が膨らんだことが伺われます。

15. 課題

施設見学は一般には実施しておらず多くの県民は存在を知らないのでこのような学習会は、回を重ねることが重要と考えます。

16. 添付資料

- ①参加者名簿
- ②募集チラシ
- ③当日資料
- ④アンケート集約結果
- ⑤当日の様子 (写真)



以上